

度にとどめる。

(一)只見町少年宿泊研修

①趣 旨

町内における各少年団体の自発的活動を推進するうえで、中心的役割を果たしている小学校六年生並びに中学校二年生を対象に、只見の恵まれた大自然に親しみながらの楽しい共同宿泊生活の経験を通して、野外活動に必要な知識・技能を修得させ、リーダーとしての資質の向上をはかるとともに、望ましい人間関係づくりやよい思い出づくりに資したい。

②とき 八月八日～九日(一泊二日)

③ところ 只見町青少年旅行村、他

④対象者 二百四十七名

○町内小学校六年生 九十九名



タコづくりの手ほどきを受ける少年



野外学習風景(少年宿泊研修)

⑤研修内容
 ○町内中学校二年生 百四十八名
 □講義 ○リーダーの役割
 □講義・演習等 ○テント設営と撤収 ○炊事と食事 ○キャンプファイヤー ○オリエンテーリング ○遊びのくふう

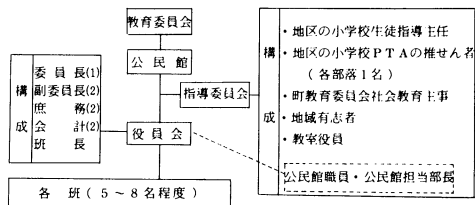
(一)ガキ大将教室
 ①施策の特色
 □遊びの指導を通して遊びの楽しさや意義を体得させ、少年時代のよい思い出づくりに資するとともに、創造性、協調性、自主性等をはぐくみ、心も体もたくましい、いわゆる「ガキ大将」を育成するのがねらい。

□公民館による青少年健全育成施策

表2 只見ガキ大将教室学習計画

月日	時間	学習事項	学習方法	学習場所	講師・助言者	備考
6・25	3	・始業式 ・年間計画、生活方法等立案 ・教室の組織づくり ・室内ゲームのくふう	・式 ・話し合い ・実技	・只見公民館	・町社会教育主事 五十嵐昭介	・学習ノート ・バッチ
7・16	5	・竹馬づくり ・竹トンボづくり ・同上遊びのくふう	・実習 ・実技	・同上	・町社会教育主事 菅家二千六 ・公民館館長 長谷部進一、他	・材料は公民館 ・道具は個人
8	4	・川あそび ・魚とり ・いも煮会	・実技 ・実習	・真奈川	・地域有志指導者 矢沢芳雄、他	
	1泊2泊	・オリエンテーリング ・キャンプファイヤー ・野外炊飯、他	・講義 ・実技 ・実習	・町青少年旅行村、他	・施設職員 只見小教諭 高島 徹、他	・宿泊研修
9	3	・昔のあそびとあそびのくふう	・実技	・只見公民館	・町社会教育主事 2名	
10	4	・山あそび ・救急処置法	・実技 ・講習	・三石遊歩道	・地域有志指導者 渡部理一、他	
11	4	・タコづくり ・タコあげ	・実技	・只見公民館、他	・地域有志指導者 菅家三雄、他	
12 / 1	5	・冬のおそび(かまくら、すもう、雪だるま、そり、雪合戦、カルタ、折紙等)	・創作 ・実技	・同上	・町社会教育主事 2名 ・町社会教育指導員 2名	
2	3	・修了式 ・おわかれパーティー	・式 ・話し合い ・実習	・同上	・町社会教育主事	修了証書アンケート
計	1泊2日 31日					

表3 ガキ大将教室運営組織



②開設教室の名称・実施機関
 □只見ガキ大将教室 (只見公民館)
 □学習内容は、地域の伝統的遊びを中心に、恵まれた只見の自然、特性をじゅうぶん生かしている。
 □教室運営は子供たちにまかせているが、助言ならびに、環境・条件整備等、育成・援助機関として、PTA、地域有志指導者等による「指導委員会」を組織している。
 □地域民の子供たちに対する関心を深め、あわせて地域連帯感の高揚を期待し、地域民の事業参加の機会を多くもつよう配慮している。

③指導者の発掘・養成及び指導体制づくりをどのようにすすめたらいいか。
 ①第三次以降における少年教育をどのようにすすめたらいいか。
 ②少年教育に対する社会的関心を高めるにはどうしたらよいか。
 ③対象者の発掘・養成及び指導体制づくりをどのようにすすめたらいいか。
 ④学習計画
 □只見ガキ大将教室 表2参照
 (明和ガキ大将教室は省略)
 ⑤運営組織 表3参照
 五、今後の課題
 □ちびっ子公民館 (明和公民館) (明和ガキ大将教室)
 ③対象者・開設期間 表1参照
 ④学習計画
 □只見ガキ大将教室 表2参照
 (明和ガキ大将教室は省略)
 ⑤運営組織 表3参照